

令和4年度 第3回 首里城公園管理体制構築検討委員会

【資料1】公園管理センターの増築・改修

- ・ 景観アドバイス会議の実施概要
- ・ 基本設計方針

令和4年度の検討事項③「公園管理センターの増築・改修」

令和3年度の検討を踏まえ、公園全体の統括機能の強化に向けて、**首里城公園管理センターの増築・改修の基本設計（景観検討を含む）**を行う。

年度	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)
取組						
管理センター及び首里杜館の増築・改修	整備方針	基本設計 管理センターの基本設計 (景観検討を含む)	実施設計 管理センター及び首里杜館の 実施設計 (建築審査会等を含む)	増築・改修工事 管理センター及び首里杜館の 増築等工事 (国営公園との連携構築に伴う設備等を除く)	工事 国営公園との連携構築に伴う 設備等の整備 (城郭内の情報を奉神門以外への共有)	
防火設備等の整備 火災受信機 監視モニター 放送設備 自家発電設備	防災センター機能の向上の考え方	詳細検討 正殿単体完成時に向けた 防火設備等の課題の抽出 防火設備等の 詳細検討 ※国と県の役割分担等を含む	基本設計 防火設備等の 基本設計等 ※国と県の役割分担等を含む	実施設計 初動対応の詳細検討を 反映 防火設備等の 実施設計等 全体基本計画を 反映	工事 火災受信機、監視モニター、放送設備、自家発電設備等の 整備	
	復元基本方針	※国の検討	全体基本計画			



首里城公園管理センター 配置図 (案)

首里城公園管理センターの増築・改修【基本設計】

<首里城公園管理センターの増築・改修の基本設計の進め方>

- ①防災センター機能の強化に係る検討
 - ・公園管理センターにおける公園全体の統括機能を強化し、城郭内外の情報の集約と発信に対応できる防火設備等の整備に必要な条件を整理する。
- ②現況施設の条件等を踏まえた必要な諸室の規模・配置等の検討
 - ・施設の敷地条件やインフラ等の状況及び管理運営上の課題等を踏まえ、公園管理センターに必要な諸室の規模・配置等を検討する。
- ③敷地計画・景観の検討
 - ・公園管理センターの増築・改修工事は、沖縄県景観評価システムの重点検討事業となっていることから、事業景観アドバイザーの助言を受け、景観検討を進めるものとする。

検討スケジュール（案）

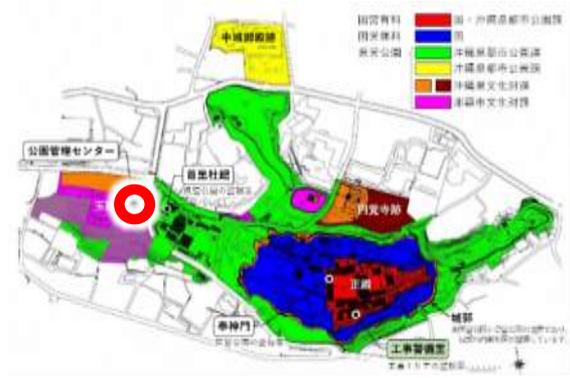
	令和4(2022)年						令和5(2023)年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
設計業務	条件の整理/必要諸室の規模・配置等の検討		設計方針(設備・構造・外構・景観検討含む)				基本設計図等の作成		
景観検討					助言 アドバイス 会議(11/24)		助言 アドバイス 会議(1/16)	助言 景観評価 委員会 (2/14)	
管理体制 検討委員会		第1回(8/1) 設計の進め方 の確認				意見交換会 AD会議の 確認	第2回(2/8) 設計方針の 確認		第3回(3/15) 基本設計の 確認

景観アドバイス会議の実施概要

令和4年度 景観アドバイス会議（基本設計段階）

<日時> 第1回：令和4年11月24日（木）10時～12時（現地確認を含む）
 第2回：令和5年1月16日（月）14時～16時（ZOOM会議）

<参加者> （事業景観アドバイザー） 公益社団法人 日本建築家協会 沖縄支部長 伊良波 朝義 氏
 公益社団法人 沖縄県建築士会 副会長 中島 親寛 氏
 （景観行政団体） 那覇市都市計画課都市デザイン室
 （事業所管課・事業担当課） 沖縄県土木建築部首里城復興課
 （設計業務受託者） （株）国建
 （事務局） 沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課
 （運用支援業務受託者） パシフィックコンサルタンツ（株）



位置図



現況写真(既存)



現況写真(増築予定地)



BIMソフトを用いた3Dパース



敷地・建物計画の模型

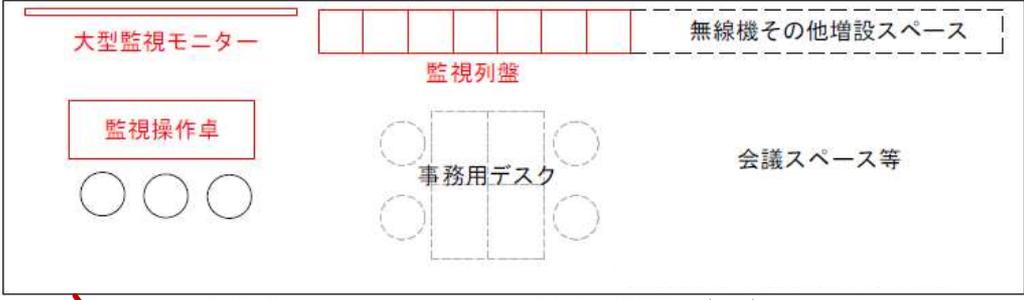


現地確認

首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

既存棟の配置計画

・首里城公園管理センター内に防災拠点スペースを設け、城郭内外の情報の集約と発信に対応できる防火設備等を集約した配置とする。



防災拠点スペース 機器配置 (案)

※平常時・非常時の使い方を整理し、事務室側に必要なモニター等を含め、詳細検討を行う。
 ※正殿工事期間中の公園管理センターの機能強化（監視カメラモニター（城郭内）の復旧等）については、引き続き、国と調整を行う。



増築棟と接続

- ◀ : 出入口(主)
- ◁ : 出入口
- 青字 : 配置変更等

既存棟 1階平面図 (案)

首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

増築棟の配置計画

- ・必要諸室面積を確保しつつ、周辺景観を考慮して県道50号線側からできる限りセットバックした配置とする。
- ・駐車・駐輪スペースを最小限に抑えて、既存植栽帯を活かし、現在の緑の景観を保持するように計画する。



敷地面積 2,345㎡
 延床面積 997㎡ (内、増築：451㎡)
 建築面積 926㎡ (内、増築：289㎡)

- 景観アドバイザーからの指摘事項等への対応
- ①敷地内の2ヶ所に新設樹木(フクギ)を追加
 - ②県道50号線側のセットバックを3.3mへ修正

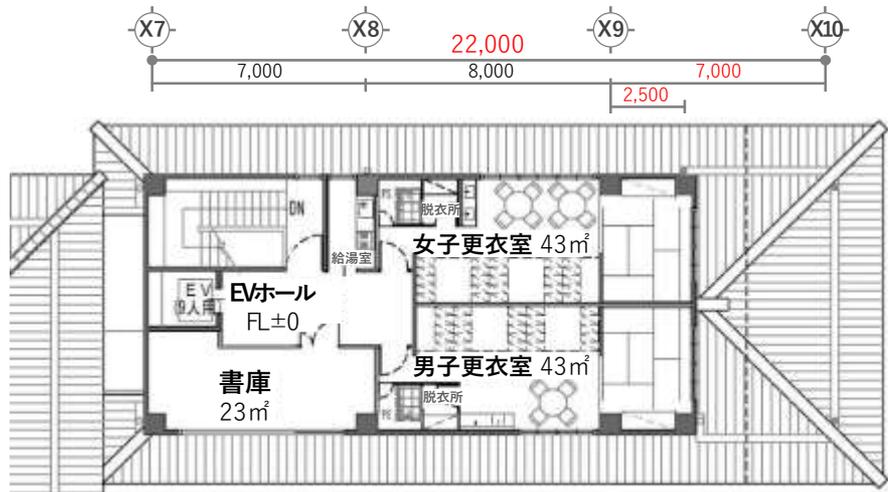
※駐車台数6台(管理用4台、来客用2台)、駐輪台数12台

首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

平面計画

・増築部分は、地下1階・地上2階建てとする。

2階
平面図(案)

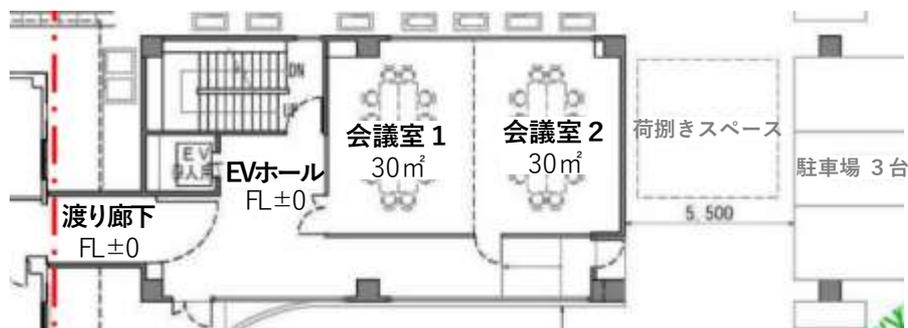


景観アドバイザーからの指摘事項等への対応

② X9-X10を8.0mから7.0mとし、県道50号線側のセットバックを3.3mへ修正

③ 1階の階高を4.2mから3.8mとし、階段・EV・EVホールの縮小・配置等を再検討し、2階部分をセットバック

1階
平面図(案)



地下1階
平面図(案)

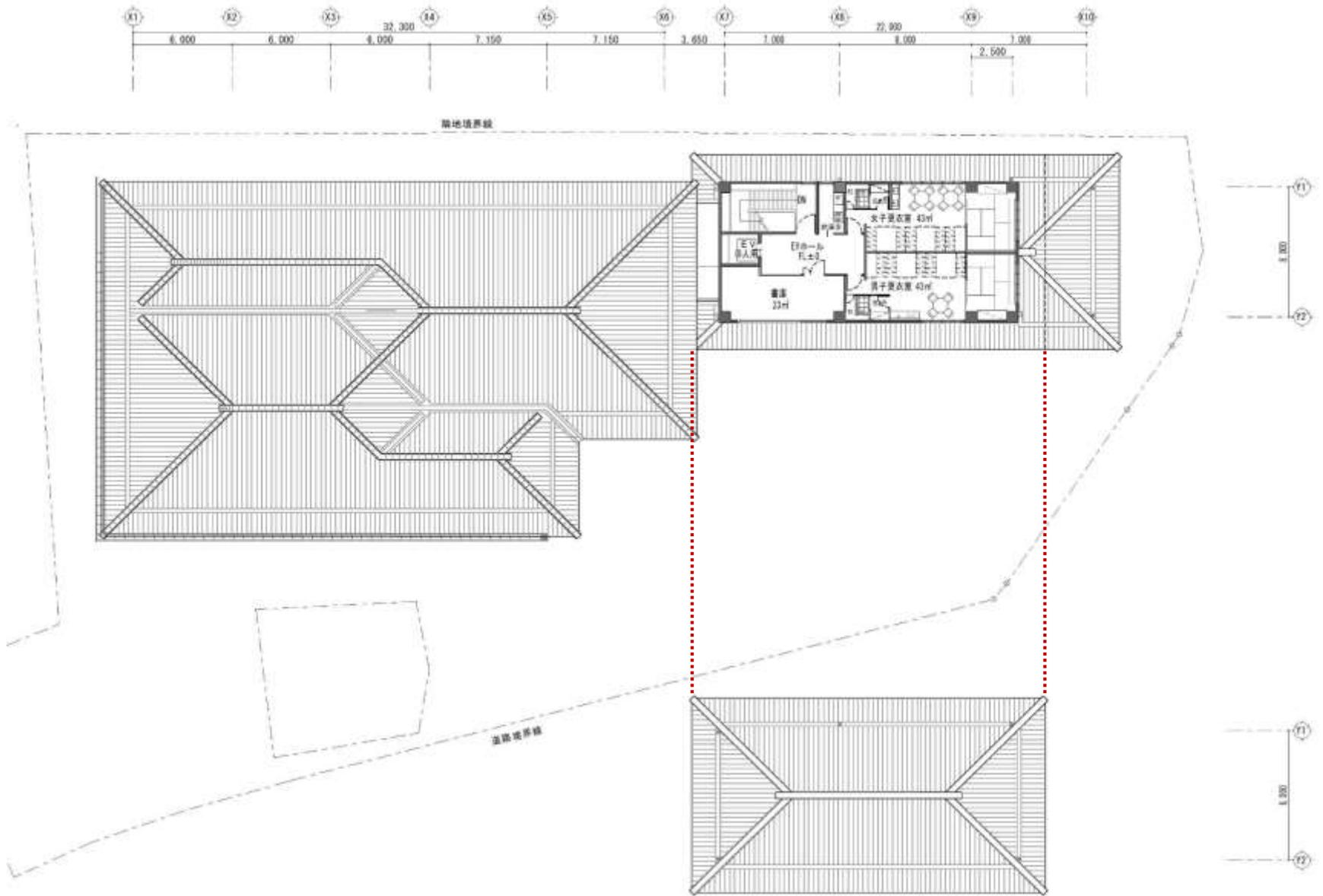


- 延床面積(既存+増築)
997.29㎡
- 延床面積(既存)
545.88㎡
- 延床面積(増築部分)
 - 地下1階： 99.12㎡
 - 1階： 197.96㎡
 - 2階： 154.33㎡
 - 計： 451.41㎡

首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

屋根伏図

・既存棟と屋根の葺き方や屋根勾配を統一する。



首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

立面計画と施設の色彩の計画

・既存管理棟と渡り廊下でつなぐ増築部分であることから、施設全体として外観の一体感を持たせるため、既存管理棟と同様の仕上材とし、腰壁(厚30杉板張り)や巾木(琉球石灰岩)の高さを既存施設と揃える計画とする。

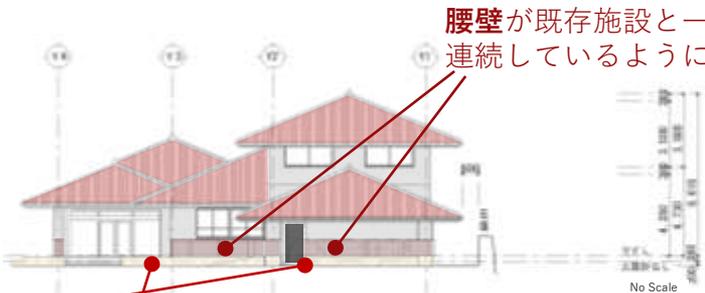
景観アドバイザーからの指摘事項等への対応
④ 1階の庇(瓦屋根)を伸ばし、壁面を分節



東側立面図 No Scale



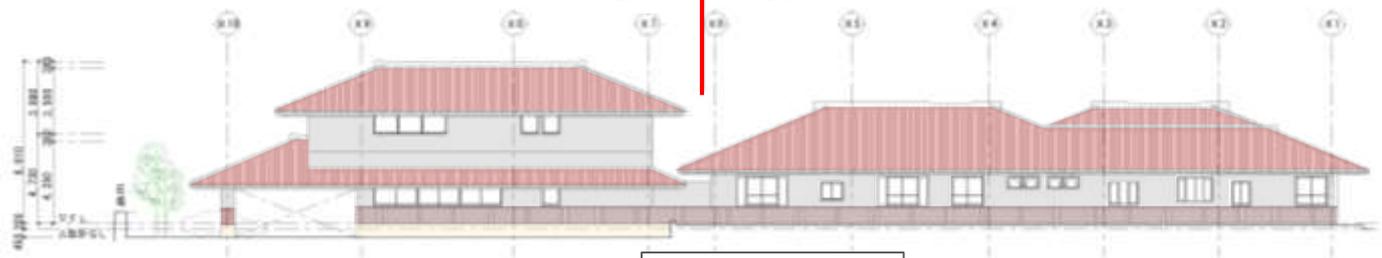
既存施設：北側面現況



北側立面図 No Scale

増築部の巾木(琉球石灰岩)は、既存施設外構の擁壁(琉球石灰岩張り)の仕上げと高さを揃える計画とする

巾木(琉球石灰岩)の高さを高くすることで腰壁(厚30杉板張り)の雨の跳ね返りや車の排ガス等による劣化に配慮した計画



西側立面図 No Scale

首里城公園管理センターの増築・改修 基本設計方針

設備・配管類の考え方

- ・受水槽・給水ポンプは、周辺景観に配慮して地下1階に配置する。
- ・給水は、既設の埋設メーターボックスをそのまま使用して、敷地内で切り回しを行う。
- ・電気引込は、首里杜館から地下埋設となっているため、そのまま使用する。
- ・汚水配管、空調室外機は、建物背後(西側)に配置して目立たないようにする。
- ・ヒートポンプ式給湯器は、既存建物と増築部分の間に配置して、目隠し等も検討する。

高さ約2mあるヒートポンプ式給湯器は目立たないように南側に配置する。

空調室外機は、建物背後(西側)に配置する。冷媒管等はPS内に設置する。

汚水埋設管(新設)

既設の外灯と駐車サイン撤去



1階平面図 No Scale



既設の水道メーターをそのまま使用



※石垣の積み直しとの整合は今後詳細検討

- 【凡例】
- 電信柱
 - ▲ 道路標識
 - 外灯
 - ★ 駐車場サイン
 - 竖樋
 - PS(パイプスペース)

受水槽・給水ポンプは、周辺環境に配慮して、地下1階に配置する。



地下1階平面図 No Scale

既存棟の配置計画

- ・ 首里城公園管理センター内に防災拠点スペースを設け、城郭内外の情報の集約と発信に対応できる防火設備等を集約した配置とする。

増築棟の配置計画

- ・ 必要諸室面積を確保しつつ、周辺景観を考慮して県道50号線側からできる限りセットバックした配置とする。
- ・ 駐車・駐輪スペースを最小限に抑えて、既存植栽帯を活かし、現在の緑の景観を保持するように計画する。

建築計画

- ・ 増築部分は、地下1階・地上2階建てとする。
- ・ 既存棟と屋根葺き方や屋根勾配を統一する。

立面計画と施設の色彩の計画

- ・ 既存管理棟と渡り廊下でつなぐ増築部分であることから、施設全体として外観の一体感を持たせるため、既存管理棟と同様の仕上材とし、腰壁(厚30杉板張り)や巾木(琉球石灰岩)の高さを既存施設と揃える計画とする。

設備・配管類の考え方

- ・ 受水槽・給水ポンプは、周辺景観に配慮して地下1階に配置する。
- ・ 給水は、既設の埋設メーターボックスをそのまま使用して、敷地内で切り回しを行う。
- ・ 電気引込は、首里杜館から地下埋設となっているため、そのまま使用する。
- ・ 汚水配管、空調室外機は、建物背後(西側)に配置して目立たないようにする。
- ・ ヒートポンプ式給湯器は、既存建物と増築部分の間に配置して、目隠し等も検討する。



東側立面図 No Scale

施工にあたっての申し送り事項

- ・ 既存建物を使用しながらの増築工事となるため、安全性を考慮した工事段階を計画する。
- ・ 地下1階部分の掘削範囲は、関係機関と調整の上、決定する。
- ・ 西側の掘削工事は、玉陵側石垣に配慮した計画とする。

維持管理にあたっての申し送り事項

- ・ 既存樹木の移植のタイミングや移植場所、維持管理し易い樹種の選定等を専門家に相談して決定する。

<参考> BIMソフトを用いた3Dパース



管理センター北東側(交差点)※鳥瞰



管理センター北東側(交差点)



管理センター北東側(出入口)



管理センター西側(玉陵)※鳥瞰

令和5年度の検討事項（案）

令和4年度の公園管理センターの基本設計を踏まえ、令和5年度は、次のような検討を進める。

公園管理センターにおける総括機能の強化に向けた取組（実施設計）

- 公園管理センターにおいては、令和4年度の基本設計を踏まえ、既存棟及び増築棟の実施設計を行う。
特に既存棟においては、公園全体の統括機能を強化できるよう、防火設備等の基本設計及び平常時・非常時における防災拠点スペースや事務室部分の使い方を踏まえた検討を行う。
- また、建物全体の設計にあたっては、公園施設として周辺施設との景観にも配慮するものとし、引き続き沖縄県景観評価システムによる確認も行う。

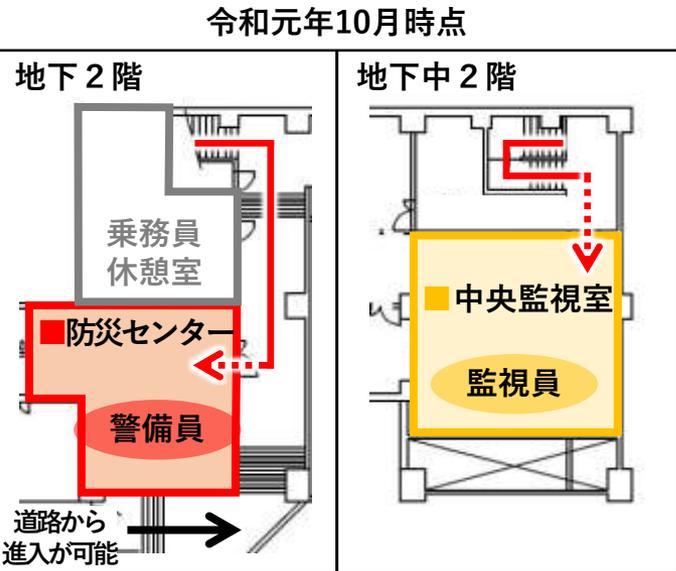
首里杜館における機能強化に向けた取組（実施設計）

- 首里杜館においては、県営公園区域における防災センター機能に資するよう既存施設の改修設計を行う。
具体的には、警備員・監視員などの常駐場所を統合するとともに、城郭内の情報も確認できる機能を配置できるよう、既存機能の統合・強化について検討を行う。

防火設備等の整備に向けた取組（基本設計）

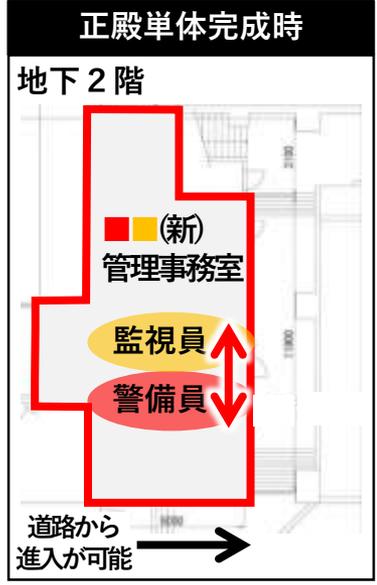
- 令和8年度の正殿単体完成時に向け、防災センター機能を強化するため、城郭内・城郭外の連携及び公園全体の統括機能の強化に必要な設備等（火災受信機、監視モニター、放送設備等）に関する基本設計を行う。

■首里杜館の機能強化 イメージ



- 防災センター
 - 防災監視盤（首里杜館）
 - 放送設備（県営公園）
 - 監視カメラ（県営公園）
 - ※城郭内の情報は、無線等での連絡

- 中央監視室
 - 中央監視装置（城郭内）
 - 中央監視装置（城郭外）
 - 監視カメラ（県営公園）

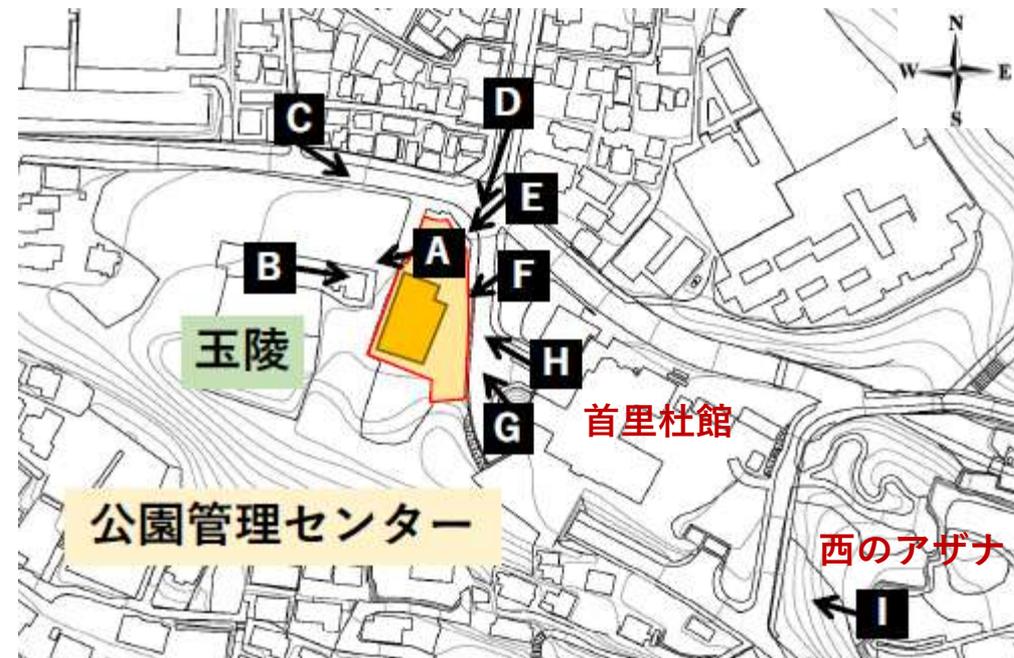


統合・機能強化

※城郭内の情報を確認できる設備等を整備

（防火設備等の基本設計及び実施設計にて検討）

参考 公園管理センター周辺の主な視点場



H 首里杜館テラス
中景域



I 西のアザナ
遠景域

視点場

近景域



A 管理センター内部



B 玉陵内部



C 管理センター西側



G 管理センター南側



D 管理センター北側



E 管理センター北東側



F 管理センター北東側

主な視点場（玉陵内部）からの見え方



東の御番所

現況写真

現況では、植栽の隙間から既存棟の一部（屋根）が見えている。



BIMソフトを用いた3Dパース

植栽の隙間から既存棟の一部（屋根）に加え、増築棟の一部（壁面）が見える。増築棟の屋根は玉陵側の植栽で隠れている。